

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



えの方すさんまぎで幸カティ
ての方すさんまぎで幸カティ
話すは、さん取か、子順ルア
姿は、なれか、ども一タに
にと、ど、た、さん、を
も、こ、と、ち、さん、使
も、た、と、は、ん、っ
ち、ち、は、は、白、て
心、一、い、美、根、交
さ、人、い、し、喜、流
れ、一、り、し、代、し
て、ま、お、い、子、ま
い、ま、の、一、い、さ、
ま、が、時、の、ん、が
自、分、間、が、来、て
分、で、す、ま、つ、い、ま、
そ、の、場、で、考、
考、人、で、

まいす。今年度は、附属中の学校評議員もさ

カルタで遊ぼう！

りりん本園では、年長
りりん本園では、年長
りりん本園では、年長

リカレント研修に 小学校の先生来る！



幼稚園教育の実際の様子を是非小学校の先生に知って頂きたい。そう願っていたところ、3学期ついに3名の先生方から参加希望がありました。

小学校の先生も丸一日保育に入り、子どもたちと一緒に遊んだり、お弁当を食べたり、全ての活動を共にして頂きました。子どもたちの様子は勿論、保育者（担任）の細やかな援助の姿に触れることで、幼児期の子どもたちの「遊びながら学んでいる」ということの意味と幼児教育の大切さを、実感として理解して頂けたようです。

「子どもたちの『やってみたい！』という気持ちを大切に、それを先生たちが見守り支援していると感じました。」「叱らずとも考えさせる声かけ、待つことなど、子どもを大切にしていると感じました。」などと、幼稚園の先生方のスキルの高さや大事にしていることを知って、3人とも「小学校に生かしていきます！」と「幼小連携」やスタートカリキュラムの運用に新たな課題を見出し、帰って行かれました。

連携から接続へ。幼児教育の考え方や手法が、少しでも小学校教育に生かされ、段差を無くすことに繋がればと期待して止みません。

「リカレント研修」に、今年度は47名もの先生を受け入れました。効果のある研修として、本園ならではのこの取組は、来年度も引き続き継続していくことにしています。

保護者アンケート

二月末の保護者アンケートへの協力に、心より感謝申し上げます。今年度は、項目を敢えて昨年と変えないことで比較し、その変化を探ることにしました。

結論から申し上げますと、どの項目も評価値に大きい変動はありませんでした。ただ、今年度の重点目標に掲げた「感謝の心育て」に関連する項目と、少しポイントが上昇した項目、逆に少し減少した項目について、考察を加えましたので裏面をご覧ください。

また、1または2の評価に関わる自由記述については、「情報共有」の機会を生かして、更にその内容の充実を期待する声が多くつか出されてきました。「円陣」一つを取ってみても、他に例を見ない本園独自の情報伝達の仕組みです。で、これをより効果的に生かしていくことは大切であると考えています。また、園長講話についての感想も有り難く、是非膝を交えて語り合いたいと思えました。（お待ちしています！）

アンケートの詳細な結果は全ての職員と共有し来年年度の園経営にしっかりと反映していきたいと思えます。有り難うございました。